

富山湾の水深100m海水を活用し育てた養殖魚の加工・販売事業

認定日：平成25年10月31日

- ◆ 平成6年に近畿大学水産研究所から技術指導を受け、海水魚の陸上養殖を開始。
- ◆ 現在、陸上養殖施設で、直径6mの円形FRP水槽50基を利用し、ヒラメとトラフグを中心に養殖した活魚を販売。（注：FRPとは繊維をプラスチックの中に入れて強度を向上させた複合材料）

【総合化事業の目標】

- ◆ 富山湾の海水を取水し、陸上施設で養殖したヒラメ、トラフグ、サクラマス、真アナゴの一次加工品の製造・販売を行うことで、安定的な収益の確保を目指し、経営の安定を図る。

【総合化事業の具体的な内容】

- ◆ 取引先のスーパーや料理店からの求めに応じ、一次加工品であるフィレ、身欠き、ドレスを製造・販売する。また、一般消費者向けのお土産品、通販商品としてサクラマスの昆布メなどの商品を製造し販売する。
- ◆ 1年目は、業務用の商品を中心に製造販売。2年目からは個人向けの持ち帰り商品や通販商品を開発し、地元にあるフィッシャーマンズワーフ「新湊きつときと市場」を中心に販売する。東京の富山県アンテナショップのほか、近畿大学の販売店に依頼し、関西方面への販売などにより、販路拡大を目指す。

